



元気アップみのり

2014年(平成26年)

さつき号

発行 NPO 法人元気アップみのり
住所 〒678-0052 兵庫県相生市大島町 3-4
電話 0791-22-1330 Fax 0791-22-1347

風薫る五月!

桜の花も散り、街中にはツツジの花が咲き始めました。初夏を思わせる風が肌に心地よく、一年で最も過ごしやすい季節という人が多い月ですが、「五月病」というのがあったりして、心身のバランスを崩す人も多いようです。

空を泳ぐ鯉のぼりを眺めながら、ゆっくりとした時間をすごすのもよいのではないかと思います。

『元気アップみのり』さつき号をお届けします。のんびりとした気分でご覧いただけたら幸いです。



先日の給食に、春巻きの鯉のぼりが出ました。食べるのがもったいない気がしました。

元気アップみのり主催の精神保健福祉研修会が、3月8日午後、相生市総合福祉会館で開催され、「障害者の権利擁護なんでもー〇番」と題して兵庫県弁護士会の三浦栄一郎先生の講演と、個別相談会が行われました。三浦先生自身、知的障害の息子さんを育てた経験から、障害者問題にも深い理解をお持ちで、家族の目線からの身近な課題から保護者の対応などが話されました。

講演後には、別室で4人の方々が相談を受けました。本講演会には、精神保健福祉士の渡邊宣子先生も同席され、ともに相談会に臨んでいただきました。本事業は兵庫県弁護士会のご厚意により今年で3回目です。また、相生市人権・同和教育推進協議会からもご支援をいただいております。



講演する三浦栄一郎弁護士

弁護士講演と相談会を開催!

3月8日(土)福祉会館、三〇名が参加

私は十六歳の時にバイク事故に遭い、医師からは助かっては植物状態と宣告されました。しかし両親や友人先輩の支え励ましがあって、ありがたくも生還できましたが、この時の後遺症により、また大きな事故を起こしてしまいました。二度目の事故では医師から一生寝たきりと宣告されましたが、またしても周囲の人たちの支えが力となって回復し、現在はみのり作業所と通信制の高校に通っています。

事故後、辛くて苦しい経験をし、したが、これまで支えてもらった多くの謝の気持ちを忘れずに成長して行きたいと願っています。 光澤 興一

工賃向上計画の現段階

平成 25 年度の工賃実績データをまとめ、先日、県に提出しました。昨年度の支払工賃総額は、**1,556,255 円**、工賃を払った利用者は毎月 **10~14 人** で年間延 **144 人** でしたから、一人ひと月当りの工賃は、**10,807 円** になりました。県の指導目標は **14,000 円** ですから、ずいぶん低いようですが、理由の一つは出勤率の低さにあります。

それで月10日以上出勤している人を対象に集計すると、工賃総額は、**1,413,054 円** に延 **110 人** で、一人ひと月当りの工賃は、**12,846 円** となります。昨年、県に届けた自主目標の値は、**12,550 円** で、こちらと比較すれば目標達成ということになります。

出勤率を上げるといっても、様々な事情を抱えている方ばかりですから一概にはいえませんが、できるだけ毎日通ってもらうよう働きかけはして行きたいと考えています。

一方、作業単価の方ですが、今年の2月から伊勢製菓さんが単価**4円**だった袋詰めの一部を**5円**に上げていただいたのと、アルミ缶の引取り単価がこの4月から**75 円/Kg** が **80 円** になりました。大変ありがたいことで、今後は業者さんへの働きかけも大事なことだと思った次第です。

相看から 実習生が



4月 21,22 日と相生市看護専門学校から6人の学生さんが来られました。今期に入って第1陣の実習生の皆さんです。初日に私たちの作業所についての説明をいろいろ聞いていただき、翌日は、利用者の人たちと一緒に作業をしたり、ゲームや体操をしていただき、私たちも半日楽しく過ごすことができました。実習生の皆さん、お疲れ様でした！

予定とお知らせ

- 5月14日(水)**…相生高校ロビーにてパンの販売
- 5月16日(金)~17日(土)**…ハートフルフェア作品展及びバザー模擬店の出店
- 5月25日(日)**…ペーロン祭ふれあいバザー出店
- 5月27日(火)**…国際ソロプチミストチャリティバザー
- 6月4日(水)**…歯科検診
- 6月13日(金)**…平成 26 年度元気アップみのり通常総会
13:30~於、総合福祉会館 301

「あのね帳」 を配布！



今期から利用者の皆さんに何でも心に浮かんだことを書いてもらおうとB6版のノートを一冊ずつ配りました。「個別支援計画」のため一人ずつ面談をしていて思いつきました。面談の時に口では言えなかったことでも、ノートがあればいつでも伝えられると思ったからです。早速ぎっしり書いて提出する人もあり返信にうれしい(?)悲鳴をあげています。